

## 競技運営に当たっての注意事項

### (1) 緊急事案に備えての事前確認

- ① 専門部は、競技会場等における危険箇所の確認・解消、避難場所の確認、避難経路・非常口の確認、消火器等の設置場所・使用方法の確認、AEDの設置場所の確認等を行う。
- ② 役員・補助員は、緊急事案発生時に迅速かつ適切に対応する為、以下に示すことを確認しておく。
  - ア 避難場所、避難経路、非常口等
  - イ AEDの設置場所・使用方法
  - ウ 消火器の設置場所・使用方法
- ③ 会場設営等については安全対策を十分に行う。(テント設営における強風対策等)

### (2) 1日単位の競技運営の確認

- ① 専門部は以下に示すことを基準に1日単位の競技運営の流れを定め、各責任者等に周知しておく。《実施フロー図参照》
- ② 災害や事件・事故が発生した場合は専門部委員長から高体連事務局へ報告すること。

連絡事項	連絡先	
	高体連事務局	報道
災害(地震、台風等)	●	
事件・事故等	●	
競技の開始・終了	●	
競技結果	●	●
競技の中断・再開	●	
その他連絡事項	●	(内容により)

- ③ 補助員の集合・解散時刻については、健康面・安全面に十分留意し設定すること。  
競技時間の延長、荒天時等による競技中断等があっても、補助員の安全管理上、**業務終了時刻(会場での解散時刻)を午後9時**とし、厳守すること。  
※競技の終了時刻：午後8時

### (3) 緊急時の対応体制

競技運営に支障が発生した場合に備えて、**対応マニュアルを作成**しておくこと。

#### (例) ・競技運営対応マニュアルの作成

- ・非常変災等による役員・補助員等が会場に到着できない場合の対応マニュアルの作成

# 1日単位の競技運営の流れ《実施フロー図》

